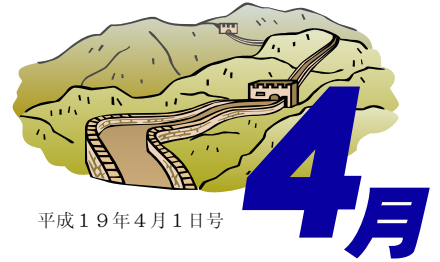


経理の窓



平成19年4月1日号

今月の税務

- 法人** : 2月決算法人の確定申告と納付
地方税 : 軽自動車税の納付
固定資産税と都市計画税の第1期分の納付
個人 : 所得税の振替納税日、4月20日(金)
消費税の振替納税日、4月26日(木)
(口座振替での納税をご利用の場合)

資金体質からみた格付けについて

会社の決算書を確定申告と資金調達のためだけでなく、経営にも活かしたいですね。自分の会社の格付けが、銀行との取引や新規顧客との取引の場合に問題になる場合があります。最近では、金融機関の審査や取引与信の考え方が変わってきています。

「資金会計理論」による経営分析をして、自分の会社の実力を診断してみませんか？
資金会計分析をすると、資金体質が一目でわかります。

「資金別貸借対照表」は、資金を「損益資金」「固定資金」「売上仕入資金」「流動資金」という資金の性質で区分し、損益計算書と貸借対照表を合わせて組み替えて作成します。それぞれの資金の調達と運用の差額を算出し、4つの資金の合計が現在の現金預金の残高と必ず一致します。通常の財務諸表では、会計の処理方法で利益が変わりますが、資金別貸借対照表では結果は変わりません。この表では、創業時から現在までの資金の運用と状態を把握することが可能で、どこを改善すればキャッシュを残すことができるかわかります。

「資金体質からみた格付け」は、資金別貸借対照表の資金運用の合計（必要資金）が、どのレベルの資金調達によって、まかなわれているかを基準に格付けしたものです。

これらの分析は決算時だけでなく、期中でもすることが可能です。

- 格付けAAは、資金運用を創業時からの儲けだけでまわせる超優良企業
格付けAは、資金運用を儲けと返済不要の資本金でまわせる優良企業
格付けBBは、資金運用を自己資本と支払サイト差による資金でまわせる準優良企業
格付けBは、資金運用に長期借入金を使ってまわしている一般的な企業
格付けCは、資金運用に短期借入が必須の資金的に厳しい企業
格付けDは、資金運用に流動負債の超短期資金まで必要とする危機的企業

貸借対照表と損益計算書があれば、裏面の表に数字をあてはめて、分析することができます。

《資金別貸借対照表》

創業時から現在まで
企業活動により稼いだ
資金。この資金を最大に
することが重要。

設備投資等の固定化
される資金運用と長期
に運用できる資金の
バランスを見る。

売上回収サイトと仕入
支払サイトの差で発生
する資金の増減と見る。
資金の安定度を表す。

全体資金の短期的
つじつまあわせの資金

現金預金	資金運用		資金調達	
損益資金Ⅰ ②－①	損益資金			
			繰越損益等	
	売上原価・営業原価 販売費・一般管理費 営業外損益 特別損益・法人税等		売上高・営業収益	
	計①		計②	
固定資金Ⅱ ④－③	固定資金			
	棚卸資産合計		社債・長期借入金	
	有形固定資産合計		その他固定負債	
	その他固定資産		(固定負債調達額計)	
	繰延資産		資本金	
			その他資本金等	
	計③		(資本金等計)	
		計④		
売上仕入資金Ⅲ ⑥－⑤	売上仕入資金			
	受取手形		支払手形	
	売掛金		買掛金	
	前受金		裏書手形	
			前渡金	
	計⑤		計⑥	
	安定資金		Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ	
流動資金Ⅳ ⑧－⑦	流動資金			
	その他流動資産		短期借入金	
			手形割引	
			(短期調達資金計)	
		その他流動負債		
		(超短期調達資金計)		
	計⑦		計⑧	
	現金・預金	Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＋Ⅳ		

《資金体質からみた格付》

現金預金	資金運用	資金調達	調達累計	格付け
	固定資金(③)	損益資金(②－①)		AA
	売上仕入資金(⑤)	資本金等計		A
	流動資金(⑦)	売上仕入資金(⑥)		BB
		固定負債調達額計		B
		短期調達資金計		C
		超短期調達資金計		D
	合計	合計		

資金運用の合計と調達累計を比較して、**資金運用の合計 < 調達累計**
になるところが、格付けとなります。

「資金会計理論」による経営分析について

「資金別貸借対照表」は、資金を「損益資金」「固定資金」「売上仕入資金」「流動資金」という資金の性質で区分し、損益計算書と貸借対照表を合わせて組み替えて作成します。

それぞれの資金の調達と運用の差額を算出し、4つの資金の合計が現在の預金残高と必ず一致します。通常の財務諸表では、会計の処理方法で利益が変わりますが、資金別貸借対照表では、結果は変わりません。この表では、創業時から現在までの資金の運用と状態を把握することが可能です。どこを改善すればキャッシュを残すことができるかわかります。

創業時から現在まで企業活動により稼いだ資金。この資金を最大にすることが重要。

設備投資等の固定化される資金運用と長期に運用できる資金のバランスを見る。

売上回収サイトと仕入支払サイトの差で発生する資金の増減と見る。

資金の安定度を表す。

全体資金の短期的つじつまあわせの資金

現金預金	資金運用		資金調達	
	損益資金			
損益資金Ⅰ ②－①			繰越損益等	
	売上原価・営業原価 販売費・一般管理費 営業外損益 特別損益・法人税等		売上高・営業収益	
	計①		計②	
	固定資金			
固定資金Ⅱ ④－③			社債・長期借入金 その他固定負債	
	棚卸資産合計 有形固定資産合計 その他固定資産 繰延資産		(固定負債調達額計)	
	計③		計④	
	売上仕入資金			
売上仕入資金Ⅲ ⑥－⑤	受取手形 売掛金 前受金		支払手形 買掛金 裏書手形 前渡金	
	計⑤		計⑥	
	安定資金 I + II + III			
	流動資金			
流動資金Ⅳ ⑧－⑦			短期借入金 手形割引	
	その他流動資産		(短期調達資金計)	
	計⑦		計⑧	
現金・預金		I + II + III + IV		

「資金体質からみた格付」は、資金別貸借対照表の資金運用の合計（必要資金）が、どのレベルの資金調達によって、まかなわれているかを基準に格付けしたものです。

これらの分析は決算時だけでなく、期中でもすることが可能です。

格付けA Aは、資金運用を創業時からの儲けだけでまわせる超優良企業

格付け Aは、資金運用を儲けと返済不要の資本金でまわせる優良企業

格付けB Bは、資金運用を自己資本と支払サイト差による資金でまわせる準優良企業

格付け Bは、資金運用に長期借入金を使ってまわしている一般的な企業

格付け Cは、資金運用に短期借入が必須の資金的に厳しい企業

格付け Dは、資金運用に流動負債の超短期資金まで必要とする危機的企業